

How

2005 VOL. **22** 男女共同参画社会をめざす **情報紙**

女のくせに
主婦のくせに

束縛は愛の証し？

～いつも夫の了承を得ないといけないA子さん～

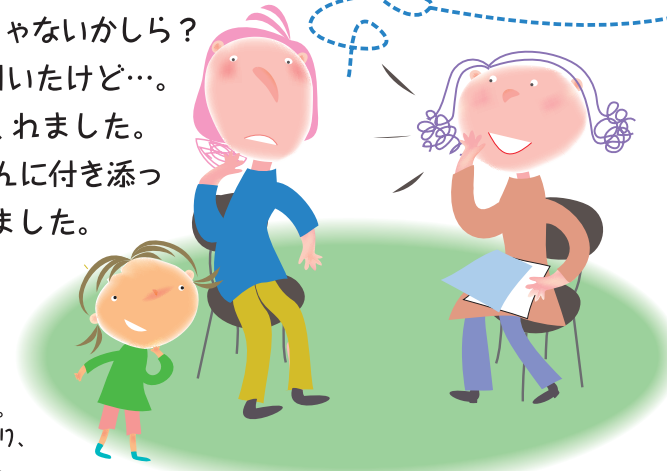
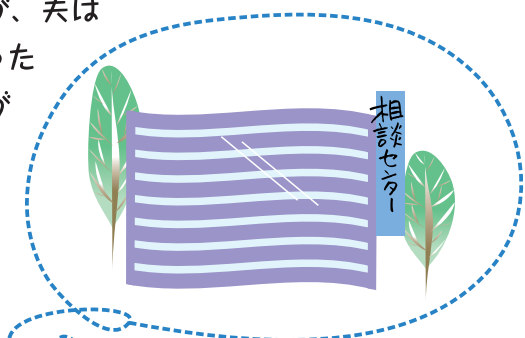


結婚して5年目のAさんは、夫の束縛に悩んでいます。結婚前から独占欲の強い人でしたが、Aさんの行動を気にするのは“愛している証”だと思っていました。

ところが、子どもが生まれた頃から夫の束縛は強くなり、子どもを連れて公園に行くのも、買い物に出かけるのも、すべて夫の了解を得ないといけません。逆らうと叩かれるので夫の言うとおりにしていました。

子どもを保育園に預けて働きたいと思うのですが、それも「おまえのような無能なやつに働き口はない」とか「女は家庭を守るのが仕事だ」と言われ許してもらえません。

何とか夫に自分の気持ちを理解してもらおうとしますが、夫はAさんが意見を言う「女のくせに生意気だ」と、まったく取り合ってくれません。近頃は「子どものためにも私が我慢するしかないんだ」と考えていました。そんな時、買い物の途中で友だちのBさんと出会い、思い切って悩んでいることを打ち明けました。するとBさんは「そうだったの。つらかったでしょう。あなたは何も悪くないと思うわ。でも、それはDVになるんじゃないかしら？無料で相談できる窓口があるって聞いたけど…。一度、調べてみるわね」と言ってくれました。それから数日後、AさんはBさんに付き添ってもらい相談に出かけることにしました。



※ DV (ドメスティック・バイオレンス) とは配偶者や恋人など親密な間柄で起こる暴力のこと。被害者の多くは女性であり、心や身体を傷つけたり、自由と安全を脅かす行為はすべて暴力になります。